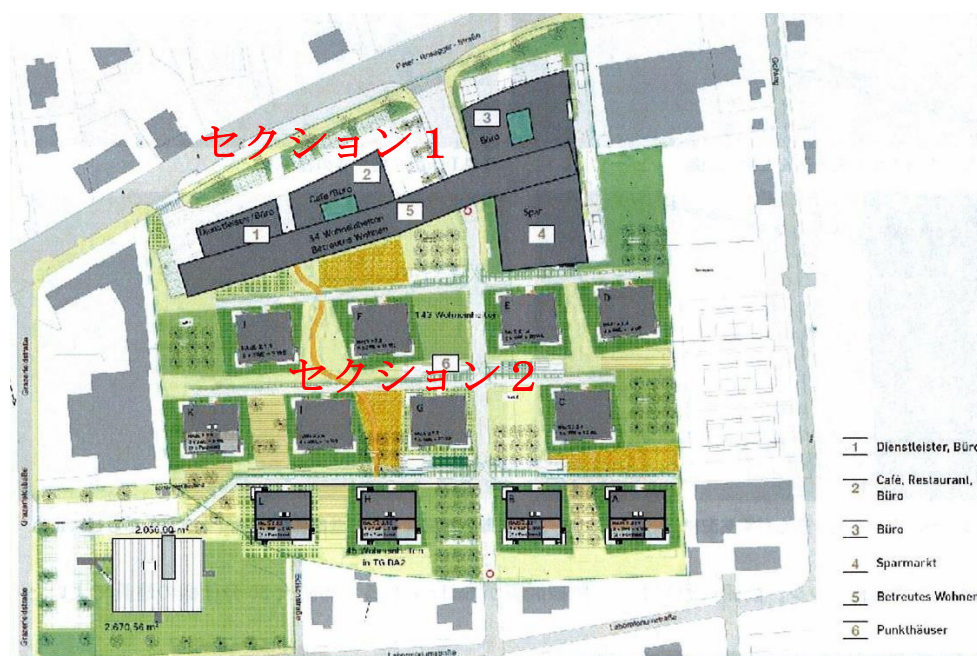




セクション1 西端部

オーストリア・グラーツの木造を活かした集合住宅・高齢者施設・オフィスビル・商業ビル等の複合施設です。道路に面したセクション1は、RC造（一部S造）+木造外壁パネルで、銀行、スーパー、レストラン、カフェ、フィットネスセンターや、オフィス、高齢者施設（介護付き住宅）、集合住宅等が含まれています。奥まったセクション2は、RC造コア+木造CLT（直交集成板）構造で、3～5階建て12棟の集合住宅（147戸）団地です。



この全体に「+ E R S」（プラスエネルギーリカバリーシステム：全体でエネルギーを融通し合うもので、パッシブハウス基準より上位の基準）を導入、太陽熱と地熱も併用して、床暖房や給湯に活用するとのこと。2012年春着工、工事中の2013年3月に「総合ハイクオリティ賞」受賞。

（写真撮影日：2013.10.8）



セクション1の外壁木造パネル



RC梁は途中まで！



RC梁に日本ではあり得ない切欠きも？

セクション2は1階F Lまでと階段室コアをRC造とし、その他はCLTを用いた木造です。CLTの厚さは、床180mm、壁160mm（1階）～100mm（5階）で、木製サッシとロックウールブロックによる外張断熱が採用されています。

A・B・H・L・K棟：3戸/階、床面積103～112㎡/戸

C・J・F棟：5戸/階、床面積57～89㎡/戸

E・D・G・I棟：4戸/階、床面積56～61㎡/戸



階段コアを先行施工



RC造階段コアとの緊結（水平力伝達）

壁CLT

床CLT



壁CLTの下に防振材が挟んである

壁CLTの脚部固定L形金物 断熱・遮音材（砂利状のもの）と床下地・仕上げ材（総厚20cm以上）で隠れる



C L Tのバルコニーは、右寄りの集成材跳ね出し梁と左端のスチール釣り具で支持、裏面はC L T現し、上面は防水シート張り、プラ束で浮かして木製簀子床を張っています。この床がこれから塗装するのか無塗装のままかは未確認ですが、木材の屋外無塗装現しは、オーストリアのここ以外の建築物でも多数見られました。



玄関底や自転車置き場等もC L Tで、小口は木板でカバーされます。



グラーツはウィーンの南西南 140 k m程のところにあるオーストリア第2の都市です。この複合施設は、その中心市街地から南西 3 k m程のところの Peter-Rosegger-Straße にあります（鉄道の Granz Main 駅から 1 駅の Don Bosco 駅からは 1 k m弱）。

<google 地図参照> <https://www.google.co.jp/maps/@47.053008,15.4095157,17.71z>

(2018.09.01)